香村賞ビジネスプラン　わかやま創生プラン部門　プラン記入用紙

|  |  |
| --- | --- |
| 代表者氏名 |  |
| 応募プランの  タイトル |  |
| 地域資源 | （１つでなくても可。ただし、具体的に書くこと） |

1．プランの具体的内容

|  |
| --- |
| ①プランの内容  プランの具体的な内容、コンセプト、思いついたきっかけ。和歌山県内あるいは全国的な位置づけ、優位性・固有性・希少性などの特徴や利活用する上での課題・問題点・持続可能性などを客観的データで把握しているか。和歌山県内のどのような地域課題に対して、地域資源を活かした地域を活性化するビジネスプランになっているか。   1. ここで「地域資源」とは、特定の地域に存在する特徴的で活用可能な資源であり、景観資源、自然資源、歴史資源、文化資源、体験・交流資源、施設・情報資源、人的資源などとする。具体的には中小企業地域資源活用推進法に基づき和歌山県が地域産業資源と指定したもの（和歌山県HPよりダウンロード可能）も利用可能です。 2. ここで「地方創生ビジネスプラン」とは、単なるイベントや情報発信ではなく、ビジネスの手法を用いて地域住民等とも連携・協働して新しい地域の価値を提案するプランをいう。 |
|  |
| ②大学で学んだことを生かしている点  大学での講義・セミナー・学習会や、ゼミ・研究室での学びなど、大学生活を通じて自身が習得した知識、知恵、専門性、技術をどのように生かしているか。 |
|  |
| ③プランの新規性、独創性  すでに同種の商品が市場化されていないか。市場化されていれば、それとの違いはどこにあり、どのような新規性があるのか。プランは他の事業・商品・サービスとは類似なく、独自の発想に基づいたものか。 |
|  |
| ④顧客とそのニーズ  想定している顧客は細分化されて、焦点が絞られているか。その顧客は何に魅力を感じ、顧客が得る満足・効用はバランスするか。どのような顧客のニーズに応えて、どのような商品・事業・サービスを提供するのか。 |
|  |
| ⑤競争他者との比較  既存のどの商品・事業・サービスと競合するか、代替するか。あるいは、補完するか、結合するか。同種商品と比較してどんな特徴をもっているか。品質、コスト、イメージ、アフターサービスにおいて競争力はあるか。後から参入してくる競争業者に対抗できるか。 |
|  |
| ⑥実現性  地域の自治体、地域住民、NPO・任意団体などとの連携、協力はえられるか。地域資源の持続可能性と維持管理への配慮がなされているか。 |
|  |

※項目ごとに文字数の制限はありませんが、**全部で2ページ以内に収めてください**。なお、応募したプランの内容については、本賞に関するもののみで使用します。応募プランは、発表することに同意したものとして取り扱います。詳しくは、応募要項で確認してください。